

近畿大学入試用語集

推薦入試(一般公募)

11月、12月に行う入試で、年内に合否が決まる入試です。他大学の受験が可能です。(専願制ではありません)

共通テスト利用方式(大学入学共通テスト利用)

本学の独自入試は実施せず、「大学入学共通テスト」における本学指定教科・科目の得点と出身高等学校もしくは中等教育学校等の調査書を総合して合否判定します。全学部で、前期、中期、後期の3回出願する機会があります(看護学部は前期・中期のみ)。中期、後期は、大学入学共通テスト受験後に出席できます。なお、医学部では、二次試験(小論文・面接)を実施します。

共通テスト併用方式

本学の「一般入試・前期(A日程)」、「一般入試・前期(B日程)」および「一般入試・後期」と「大学入学共通テスト」における本学指定教科・科目の得点と出身高等学校もしくは中等教育学校等の調査書を総合して合否判定します。なお、学部内併願方式および他学部併願方式でも、利用することができます。

スタンダード方式

一般入試・後期を除く全日程において、受験科目(1科目100点)の総合点で合否判定します。文芸学部では、各科目を等しい配点で判定する「スタンダード型」と、配点の高い科目を設けている「選択科目重視型」、「実技試験判定型」があります。

高得点判定方式

一般入試・後期で行う判定方式です。(医学部・短期大学部を除く)3教科3科目を受験し、そのうち高得点の2教科2科目で合否判定します。ただし、薬学部は、「英語」「数学①」「数学②」の高得点科目と「理科」の2教科2科目、国際学部は「英語」と「国語」「地歴・公民・数学」の高得点科目の2教科2科目で合否判定します。

併願方式

スタンダード方式の結果(得点)を利用して、追加で合否判定を受けることができる制度です。合格者数は、スタンダード方式および各併願方式の受験者数の比率をもとに、募集人員を按分して決定します。

高得点科目重視方式

判定方法: 受験した教科・科目のうち、最高得点の科目(選択科目は得点調整後の点数を2倍に換算し、他の科目との総合点で合否判定を行います。)
※学部内併願方式および他学部併願方式で追加した志望学科・専攻・コースにも出願できます。

英語外部試験利用方式

対象学部: 法学部
対象入試: 一般入試・前期(A日程・B日程)
判定方法: 大学が指定する英語外部試験等のスコアを換算した得点と、スタンダード方式の結果(得点)を合わせて合否判定を行います。

数理重視方式

対象学部: 理工学部
対象入試: 推薦入試(一般公募)
判定方法: 「数学」または「理科」の点数を2倍に換算し、「英語」との総合点で合否判定を行います。
※学部内併願方式で追加した志望学科・専攻・コースにも出願できます。

理科重視方式

対象学部: 薬学部
対象入試: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(A日程・B日程)
判定方法: 「理科」の点数を2倍に換算し、他の科目との総合点で合否判定を行います。

生物理工学部独自方式

対象学部: 生物理工学部
対象入試: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(B日程)
判定方法: 推薦入試(一般公募)では、「数学」または「理科」の1科目で合否判定を行います。一般入試・前期(B日程)では、「数学」と「理科」の2教科2科目で合否判定を行います。推薦入試(一般公募)では2教科、一般入試・前期(B日程)では3教科受験しないと欠席扱いとなります。
※学部内併願方式で追加した志望学科にも出願できます。

国際学部独自方式

対象学部: 国際学部国際学科グローバル専攻
対象入試: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(A・B日程)、一般入試・後期
判定方法: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(B日程)および一般入試・後期では「英語」1科目で、一般入試・前期(A日程)では「国語」「地歴・公民・数学」の高得点1科目と「英語」の2教科2科目で合否判定を行います。また、スタンダード方式・高得点判定方式(一般入試・後期)で出願された方は、併願方式としても出願できます。その場合は推薦入試(一般公募)では2教科、一般入試では3教科受験しないと欠席扱いとなります。

情報学部独自方式

対象学部: 情報学部
対象入試: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(A・B日程)、一般入試・後期
判定方法: 情報学部において、推薦入試(一般公募)、一般入試・後期では「数学」1科目で、一般入試・前期(A日程・B日程)においては、「英語」と「数学」の2教科2科目で合否判定を行います。また、推薦入試(一般公募)のスタンダード方式または一般入試・後期の高得点判定方式に出願された方は、併願方式としても出願できます。その場合は推薦入試(一般公募)では2教科、一般入試・後期では3教科受験しないと欠席扱いとなります。

看護学部独自方式

対象学部: 看護学部
対象入試: 一般入試・前期(A日程・B日程)
判定方法: 「英語」と「国語」の2教科2科目で合否判定を行います。また、スタンダード方式で出願された方は、併願方式としても出願できます。その場合は3教科受験しないと欠席扱いとなります。

中央値補正法

本学の独自入試では、選択科目間の問題難易差による不公平をなくすため、「中央値補正法」により試験日・学部・選択科目ごとに得点調整を行っています(短期大学部を除く)。また、合否判定については、試験日ごとに行います。

「中央値補正法」とは、各科目の真ん中の順位の人(中央値)の点数を50点に置き換え、他の人の点数を調整する方法です。1001人受験した場合は、真ん中の501番目の人の点数が50点に置き換えられます。

席次	素点			補正点	
	日本史 100点	数学 100点		日本史 100点	数学 100点
1	100	100	▶	100	100
2	95	70		91.7	72.7
3	85	60		75.0	63.6
4	80	55		66.7	59.1
5	75	50		58.3	54.5
6	70	45	▶	50	50
7	65	40		46.4	44.4
8	60	35		42.9	38.9
9	55	30		39.3	33.3
10	50	25		35.7	27.8
11	0	0		0	0
平均点	66.8	46.4		55.1	49.5

数式に当てはめると上の表のような補正点が出ます。
平均点を見れば、選択科目による有利不利が少なくなったことが分かります。

中央値補正法の計算式

- ① 素点 < 中央値の時
$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$
- ② 素点 ≥ 中央値の時
$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{満点} - \text{中央値}} \times (\text{素点} - \text{中央値}) + (\text{満点の半分の点数})$$

上の表は「日本史」と「数学」が選択科目の例です。ここで選択した科目によって有利不利にならないよう、「中央値補正法」で得点を再計算します。成績順の中央に位置する席次6番目の生徒が50点です。上の数式をあてはめ、補正点を算出します。

他の学部・学科を併願できる方式

●判定方法(得点調整)

大学の独自入試を受験した学部・学科・専攻・コースの受験科目の得点(得点調整前)を併願先の得点(得点調整前)とし、併願先の大学独自入試を受験した受験者と同様に得点調整を行った後、「スタンダード方式」または「高得点判定方式」として合否判定します。(短期大学部については、得点調整を行いません)

▶ 文系学部学部内併願方式

推薦入試(一般公募)および一般入試の全日程において、**経済学部**、**経営学部**、**文芸学部***、**総合社会学部**、**国際学部**の同一学部内の他の学科・専攻・コースを併願し、判定される方式です。併願数に制限はありません。

※文芸学部芸術学科舞台芸術専攻は、一般入試・前期(A日程)と一般入試・後期で併願可能です。

また、文芸学部芸術学科・造形芸術専攻は実技試験判定型を除き、併願可能です。

▶ 文系学部他学部併願方式

一般入試・前期(A日程)と一般入試・後期において、**法学部**、**経済学部**、**経営学部**、**文芸学部**(一般入試・後期「**芸術学科**」**造形芸術専攻**(実技試験判定型)を除く)、**総合社会学部**、**国際学部**、**情報学部**、**短期大学部**の間で、他の学部の学科・専攻・コースを併願し、判定される方式です。併願数に制限はありません。

ただし、短期大学部を第一志望とした場合は、文系学部他学部併願方式は利用できません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。

▶ 理系学部学部内併願方式

推薦入試(一般公募)および一般入試の全日程において、**理工学部**、**農学部**、**生物理工学部**、**工学部**、**産業理工学部**の同一学部内の他の学科・コースを併願し、判定される方式です。併願数に制限はありません。

なお、**理工学部**、**農学部**、**工学部**では、受験時には併願先の学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。(21~28ページを参照)

▶ 理系学部他学部併願方式

一般入試・前期(A日程)において、**理工学部**、**建築学部**、**薬学部**「**創薬科学科**」、**情報学部**、**農学部**、**生物理工学部**、**工学部**、**産業理工学部**の間で、他の学部の学科・専攻・コースを併願し、判定される方式です。

ただし、**工学部**、**産業理工学部**を第一志望とした場合は、理系学部他学部併願方式は利用できません。併願数に制限はありません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。(20ページを参照)

▶ 経済学部他学部併願方式

経済学部では、推薦入試(一般公募)において、**産業理工学部**「**経営ビジネス学科**」の併願が可能です。

▶ 経営学部他学部併願方式

経営学部では、一般入試の全日程において、**産業理工学部**「**経営ビジネス学科**」、推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(B日程)において**短期大学部**の併願が可能です。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。

▶ 理工学部他学部併願方式

理工学部では、推薦入試(一般公募)において、**産業理工学部**の全学科、一般入試・後期において、**生物理工学部**、**工学部**、**産業理工学部**の全学科の併願が可能です。併願数に制限はありません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。

▶ 建築学部他学部併願方式

建築学部では、推薦入試(一般公募)において、**生物理工学部**の全学科、**工学部**「**建築学科**」、一般入試・前期(B日程)において、**生物理工学部**の全学科、**工学部**「**建築学科**」、**産業理工学部**の全学科、一般入試・後期において、**産業理工学部**の全学科の併願が可能です。併願数に制限はありません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。

▶ 薬学部他学部併願方式

薬学部では、推薦入試(一般公募)において、**薬学部**「**創薬科学科**」で**生物理工学部**、**工学部**の全学科、一般入試・前期(B日程)においては、**薬学部**「**創薬科学科**」で**生物理工学部**の全学科の併願が可能です。一般入試・後期では、**薬学部**の全学科において、**生物理工学部**の全学科の併願が可能です。併願数に制限はありません。

▶ 情報学部他学部併願方式

情報学部では、推薦入試(一般公募)において、**生物理工学部**、**工学部**の全学科、一般入試・前期(B日程)の英・数・理型において、**生物理工学部**、**工学部**、**産業理工学部**の全学科の併願が可能です。併願数に制限はありません。

▶ 農学部他学部併願方式

農学部では、一般入試・後期において、**生物理工学部**の全学科と**工学部**「**化学生命工学科**」の併願が可能です。併願数に制限はありません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。